

## おしゃれの余裕のなさは、大逆転の前触れ。

高校生にもなると、おしゃれに興味が出てくる時期です。美容院に行ってパーマをかけたり、特殊な道具を使って眉を整えたりします。

お化粧道具を揃え、スキンケアにも力を入れたいくなります。

私服では、はやりの服を着たくなるでしょう。

中には、お化粧をして学校にやってくるという人までいるから驚きです。

思春期ですから、おしゃれの1つもしたい気持ちはあつて当然です。

おしゃれな友達を見かけていると、自分まで「もっとおしゃれをしないといけない」という気になります。

周りの人はおしゃれを楽しんでいるのに、自分は勉強のせいでおしゃれの余裕がないため、情けなくなります。

「自分は、なんてださいのだろうか」

本来、受験勉強を始めると、おしゃれに対して余裕がなくなります。

特に本腰を入れて受験勉強をし始めると、完全におしゃれを忘れそうになるといっても過言ではありません。

髪はぼさぼさ。

着る服もいつも同じものばかり。

場合によっては、肌が荒れます。

しかし、大丈夫です。

「おしゃれがしたくてもできない」というのは、それだけ勉強に集中できている証拠です。



おしゃれができる余裕がなくていい。

そもそも受験勉強の時期というのは、そうなる当たり前です。

人生には、集中しなければならない時期があります。

受験期なら、勉強に集中する時期です。

むしろおしゃれをしている人のほうがおかしいです。

勉強に集中ができていないということです。

おしゃれをしたいけど、できる余裕がないあなたは、そのままでもいい。

むしろいい兆候です。

高校時代におしゃればかりに気を使っていた人は、受験に失敗してしまいます。

一方、おしゃれに余裕がないほど勉強している人は、見事大学に受かることでしょう。

いい大学で、友達にも恵まれ、入学後にはおしゃれをする余裕が出てきます。

そこで立場が大逆転するのです。

## 受験時代に経験しておきたい気づき その8

**受験時代には、おしゃれを忘れる。**